

國木田淳子 （號） 小説家。明治十一年八月七日東京生れ、附植二十七年十一月二十一日歿（二八九—一九二）。舊姓榎本、本名治（はる）。

明治二十一年國木田獨歩と結婚。のち雑誌『婦人界』、『萬朝報』等
い小説を發表。

編著書『獨歩書簡』（編、明治四十二年五月十八日新潮社）、『獨歩

小話』（編、明治四十五年五月十八日新潮社）、國木田獨歩著『運命』

（編、大正四年五月）二十五日新潮社「縮刷傑作文庫」、『黄金の林』

（國木田獨歩合著、大正五年二月）二十日杉本要刊、大阪屋號書店（發）、

『獨歩手記』（編、大正五年二月）二十八日早稻田文藝社。再刊。八年

二月二十一日大分社。十年六月二十日大分社、東盛堂（發賣）等。